

令和 5年 3月 15日

下川町議会議長 近 藤 八 郎 様

下川町議会脱炭素推進調査特別委員会
委員長 斉 藤 好 信

下川町議会脱炭素推進調査特別委員会調査結果報告

このことについて、当委員会における調査結果を、議会会議条例第79条の規定に基づき、次のとおり報告をいたします。

記

1 開催年月日及び場所

令和4年 9月20日	第3回特別委員会	議会委員会室
	下川町議会脱炭素推進調査 特別委員会中間報告	議場
令和4年10月31日	第4回特別委員会	議会委員会室
令和4年12月12日	第5回特別委員会	議会委員会室
令和5年 3月 6日	第6回特別委員会	議会委員会室

2 委員会構成

委員長	斉 藤 好 信	副委員長	春 日 隆 司
委員	中 田 豪之助	委員	大 西 功
委員	我孫子 洋 昌	委員	蓑 谷 春 之
委員	小 原 仁 興		

3 調査経過（9月中間報告から）

令和3年下川町議会定例会3月定例会議において本特別委員会が設置され、その後9月20日に中間報告を行ったところである。

これまでの経過については、令和4年9月20日の中間報告のとおりであり、中間報告協議の際の開催を含め、特別委員会は4回開催され、その概要は次のとおりである。

(1) 第3回特別委員会

日 時 令和4年9月20日
場 所 3階委員会室
概 要

令和4年定例会9月定例会議の最終日の中間報告に関し、その内容について協議を実施した。

(2) 第4回特別委員会

日 時 令和4年10月31日
場 所 3階委員会室
概 要

枝廣淳子氏を講師として、ゼロカーボンに係る勉強会を開催し、全体説明を聴講後、意見交換を実施した。

町では、枝廣氏を講師として、令和4年7月4日、10月11日の2回にわたり、町民向けにゼロカーボン推進勉強会を実施している。今回の勉強会はそれらの内容を含めて、ゼロカーボンに関して理解を深めることを意図して実施を企画したものであり、最も切迫した地球環境問題の一つである温暖化に関しての実態やそれらが環境にもたらす影響などについての説明があった。また、2015年のパリ協定に関しての解説ののち、環境における実際の二酸化炭素の動きや下川町の現状と課題に関しての説明があったところである。

これらの説明とその後の質疑応答により、議員全員でゼロカーボンに関しての理解を深めたところである。

(3) 第5回特別委員会

日 時 令和4年12月12日
場 所 3階委員会室
概 要

ゼロカーボン推進戦略室から、「下川町地球温暖化対策実行計画」策定に係る経過について報告を受け、今後の方向性などについて意見交換を行った。

(4) 第6回特別委員会

日 時 令和5年3月6日
場 所 3階委員会室
概 要

ゼロカーボン推進戦略室から、前回の特別委員会で経過報告を受けた以後の実行計画策定に係る経過について報告を受け、意見交換を行った。

4 今後の予定

(1) 下川町議会脱炭素推進調査特別委員会最終報告

日 時 令和5年3月16日

場 所 議場

概 要

本報告書のとおり

5 調査結果

当初、下川町地球温暖化対策実行計画案の策定は、令和4年12月に議会に対する計画素案説明、令和5年3月に計画案報告の予定との説明であったが、第5回特別委員会時の所管課の報告では、令和5年6月頃になるとのことであった。

第6回特別委員会の際の説明では、さらに遅れ7月頃になるとのことであったため、今定例会会期中における実行計画に関する結論は出ないものと判断したところである。

以上のことから当委員会としては、実行計画の策定に際して、さらに住民参加による議論を深めていただき、SDGs未来都市しもかわに相応しいより良い実行計画の策定となるよう望むものである。

また、下川町議会は、令和3年下川町議会定例会3月定例会議において、「ゼロカーボンシティしもかわ宣言の推進に関する決議」を採択し、その決議内容を議会の行動として具体的に示すために、令和4年5月2日の令和4年下川町議会定例会5月臨時会議において、「下川町議会における脱炭素(ゼロカーボン議会)の行動指針に関する決議」を採択したところである。

決議による行動指針を実践するために、議会活動における二酸化炭素の排出量の削減に努め、削減できなく排出してしまう二酸化炭素については、北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会が保有するオフセット・クレジット(J-VER)により相殺して、二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボン議会」を進めてきた。

その結果、令和4年5月から令和5年2月までの実際の議会活動における電気使用量における二酸化炭素排出は、283kg-CO₂、また、議会参集、会議及び研修視察等における交通利用での二酸化炭素排出量は、3,735kg-CO₂となったところである。しかし、オフセットの実施には、令和4年下川町議会定例会の全会期中を対象とすることが決議の趣旨にも適うものであることを鑑みることから、今後の3月及び4月の活動を排出予定量として、電気及び交通利用を合わせて、225kg-CO₂と見込み、会期中の合算は、4,243kg-CO₂と積算するものである。従って、クレジットとして購入する会期中の議会活動による二酸化炭素排出量を5t-CO₂としたところである。

これら排出された二酸化炭素（予定量を含む）については、北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会のオフセット・クレジットによるカーボン・オフセットを3月14日付けで行い、カーボン・オフセット証明書の交付を受けたところである。当該クレジットにおける相殺は、55,000円となった。

以上により、下川町議会における議会活動の二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする活動が実践できたものである。

以上の報告をもって、今期における特別委員会の活動の経過と結果の報告とする。